

「スペシャルサポート大使」 メンバー略歴

(50音順・平成29年8月時点)

東ちづる(あずまちづる)

広島県出身。会社員生活を経て芸能界へ。

ドラマから司会、講演、出版など幅広く活躍。

プライベートでは骨髄バンクやドイツ平和村、アールブリュット等のボランティアを25年以上続けている。

2012年10月、アートと音楽等を通じて、誰も排除しない、誰もが自分らしく生きられる“まぜこぜの社会”を目指す、一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表として活動中。

有森裕子(ありもりゆうこ)

バルセロナオリンピック、女子マラソン銀メダリスト。アトランタオリンピック、女子マラソン銅メダリスト。

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長。

大日方邦子(おびなたくにこ)

東京都出身。3歳の時に交通事故で負傷し、両足に障害を負う。

パラリンピック5大会連続出場(1994年リレハンメル大会～2010年バンクーバー大会)

パラリンピックアルペンスキーで計10個(金2個、銀3個、銅5個)のメダル獲得。

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会副会長。

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会運営委員。

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟理事。

金澤翔子(かなざわしょうこ)

東京都出身。誕生時にダウン症が判明。

NHK大河ドラマ「平清盛」・国体東京大会の開会式・天皇陛下の御製を揮毫。

東大寺をはじめ神社仏閣で奉納・揮毫。福岡・愛媛県立美術館で個展。

いわき応援大使。日本福祉大学客員准教授。

河合 純一（かわいじゅんいち）

静岡県出身。先天性ブドウ膜欠損症のため、生まれつき左目の視力がなく、15歳で右目の視力も完全に失われる。

パラリンピック6大会連続出場（1992年バルセロナ大会～2012年ロンドン大会）

パラリンピック競泳で計21個（金5個、銀9個、銅7個）のメダル獲得。

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長。

日本スポーツ振興センター先任研究員。

川島成道（かわばたなりみち）

東京都出身。ロサンゼルス滞在中、風邪薬の副作用による後遺症として視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンの勉強を始める。

桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され首席卒業。英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開。

CDはファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなって以来14枚をリリース。

デビュー当初より積極的にチャリティコンサートを行うほか、高校教科書に映像や文章が使用されるなど社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。

横溝さやか（よこみぞさやか）

神奈川県出身。競馬・牧場・世界名作劇場をこよなく愛するイラストレーター・絵本作家。オリジナル紙芝居「ピ・ヨンジュとオレ三世シリーズ」や世界の国々をテーマにした「世界旅行シリーズ」など数々の作品を制作。各地で積極的に発表を行う。

<主な出展歴・受賞歴>

2007年 第4回逗子市手づくり絵本コンクール 一般の部最優秀賞

2016年 スタジオクーカのパッパラパラダイス（ATSUKO BAROUH/渋谷）

ここからアート・デザイン・障害を考える3日間（国立新美術館）

2017年 日本財団 DIVERSITY in the ARTS～MAZEKOZE プロローグ～（COREDO 室町）

スポーツ庁より依頼され障害者スポーツ支援認定ロゴマークを制作

平塚市より依頼され湘南ひらつか七夕まつり公式グッズを制作

レモンさんこと山本シュウ（れもんさんことやまもとしゅう）

大阪出身。ラジオDJ。大阪大学「教職論」講師（11年）。

NHK Eテレ「みんなのための バリアフリー・バラエティー バリバラ」の司会を務める。

厚生労働省主催のエイズ啓発イベント「レッドリボンライブ」総合プロデューサー。

日本赤十字社の献血推進プロジェクト「Love in Action」のプロジェクトリーダー
レモンの被り物をして、全国で教育や子育てなどの講演会を実施している。